

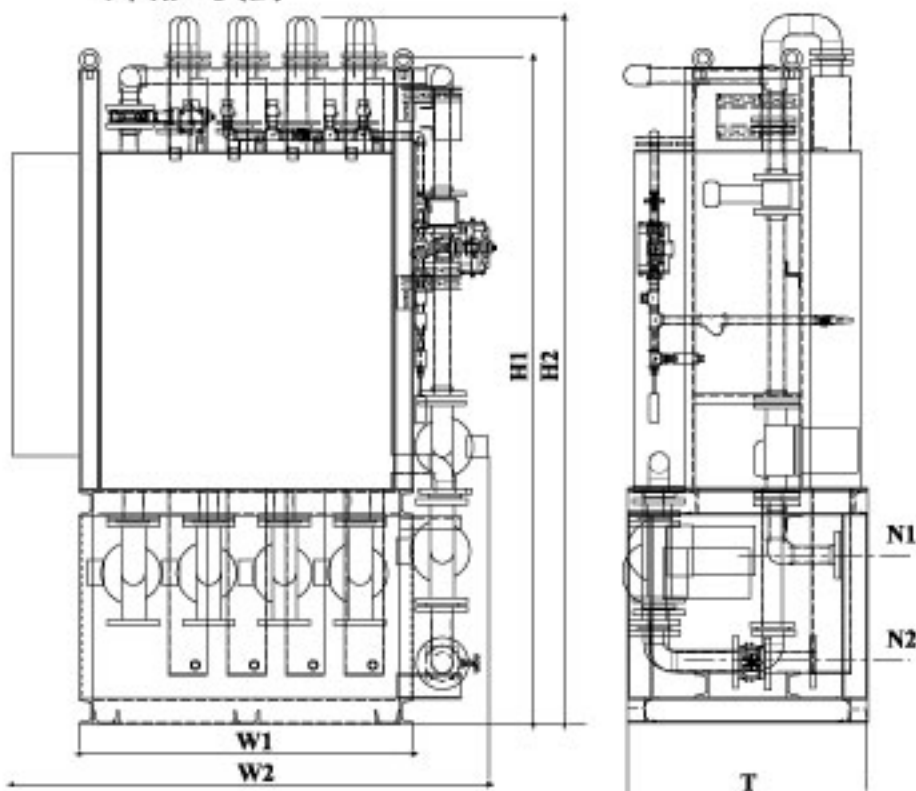
エコダッキ。

標準仕様表

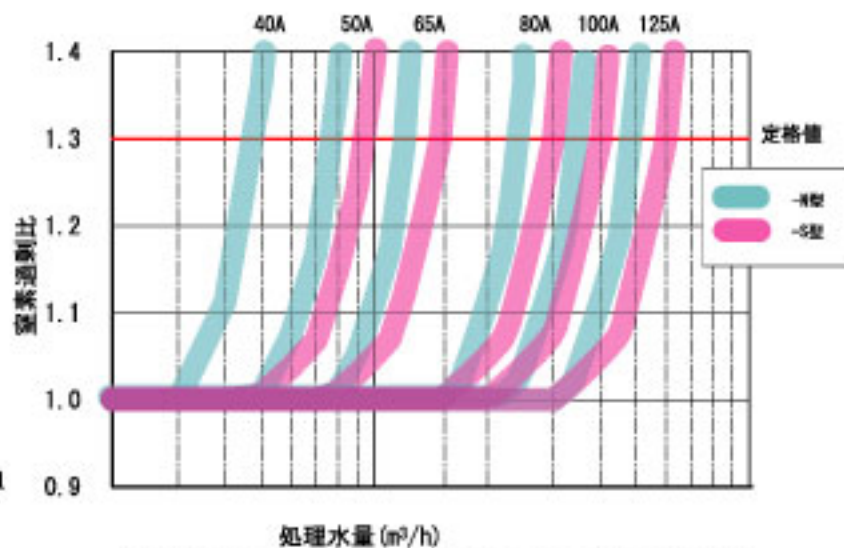
形式名	単位	SSD40A	SSD50A	SSD65A	SSD80A	SSD100A	SSD125A	備考					
追加形式	-	-N	-N	-S	-N	-S	-N	※1					
定格処理能力	m ³ /h	4.8	7.7	9.6	12	15	24.1	30	36	45	48	60	
処理方法	-	オンデマンド型4段カスケード式窒素脱気方法											
蒸気量	kg/h	-	-	135	-	216	-	378	-	548	-	931	※2
窒素使用率	NL/m ³	50 (処理水DO=0.5ppm, 原水DO=8ppmの標準値)											※3
最大窒素使用量	Nm ³ /h	0.5	1.0	1.5	3.0	4.5	6.0	※4					
窒素量制御方式	-	原水流量比例方式											
使用温度範囲	℃	5-95℃											※5
窒素供給圧	Mpa	0.2~0.98											
空気供給圧	Mpa	0.5											
入口P (OP)	kw	0.25	0.25	0.4	0.75	1.5	2.2	※6					
出口P (OP)	kw	0.25	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	※7					
循環P (4式)	kw	0.25	0.4	0.75	1.5	2.25	3						
ポンプ制御	-	インバーターによる自動省エネ運転											
合計動力	kw	1.7	2.45	4.35	8.45	12.9	18.1						
電源電圧	V	AC180~240V 3φ50/60Hz共用											
入口口径	-	32A	40A	50A	65A	80A	100A	JIS10K					
出口口径	-	40A	50A	65A	80A	100A	125A	JIS10K					
乾燥重量	kgf	500	630	850	1250	1750	2200						
運転重量	kgf	730	1030	1500	2400	3500	4400						

- ※1：-S形式は、スチームアシストタイプで0.3MPa以上の蒸気が必要です。
 ※2：定格水量が75%以上で使用します。
 ※3：窒素使用率は水温や負荷率により変化します。
 ※4：供給設備の最大能力です。実使用量は負荷率や水温により変化します。
 ※5：80℃以上での長時間運転の場合はご相談下さい。
 ※6：原水供給ヘッドが3m以上の場合には不要です。
 ※7：ボイラへの供給管が同一平面以下で、水温が50℃以下の場合には不要です。

外形寸法



脱気能力選定表



-S形式は、蒸気ボイラ給水等のプロセス側で再加熱する用途で選定すると、エネルギーが有効利用できます。
 定格能力の目安は、窒素過剰率が1.3倍付近の処理水量です。
 短時間の過負荷は、過剰率を更に上昇させる事で、溶存酸素の上昇を防止します。
 瞬間過負荷は150% (1秒以内)、連続過負荷は125%です。

標準寸法/重量表

記号	形式	SSD40A	SSD50A	SSD65A	SSD80A	SSD100A	SSD125A
W1		955	995	1285	1910	2410	2660
W2		1190	1435	1705	2355	2980	3400
H1		2000	2100	2250	2300	2350	2350
H2		2000	2100	2450	2500	2550	2600
T		650	715	825	1005	1120	1320
N1		10K32A	10K40A	10K50A	10K65A	10K80A	10K100A
N2		10K40A	10K50A	10K65A	10K80A	10K100A	10K125A
乾燥重量		500	630	850	1250	1750	2200
運転重量		720	1030	1500	2400	3500	4400



株式会社関口

〒112-0011 東京都文京区千石1-6-24
 TEL(03)39470425, FAX(03)39471787
<http://kk-sekiguchi.com/>